

サイクロンクリーナー スティック ESC-55K

取扱説明書

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用前の準備	4

掃除のしかた

使いかた	5
収納のしかた	6

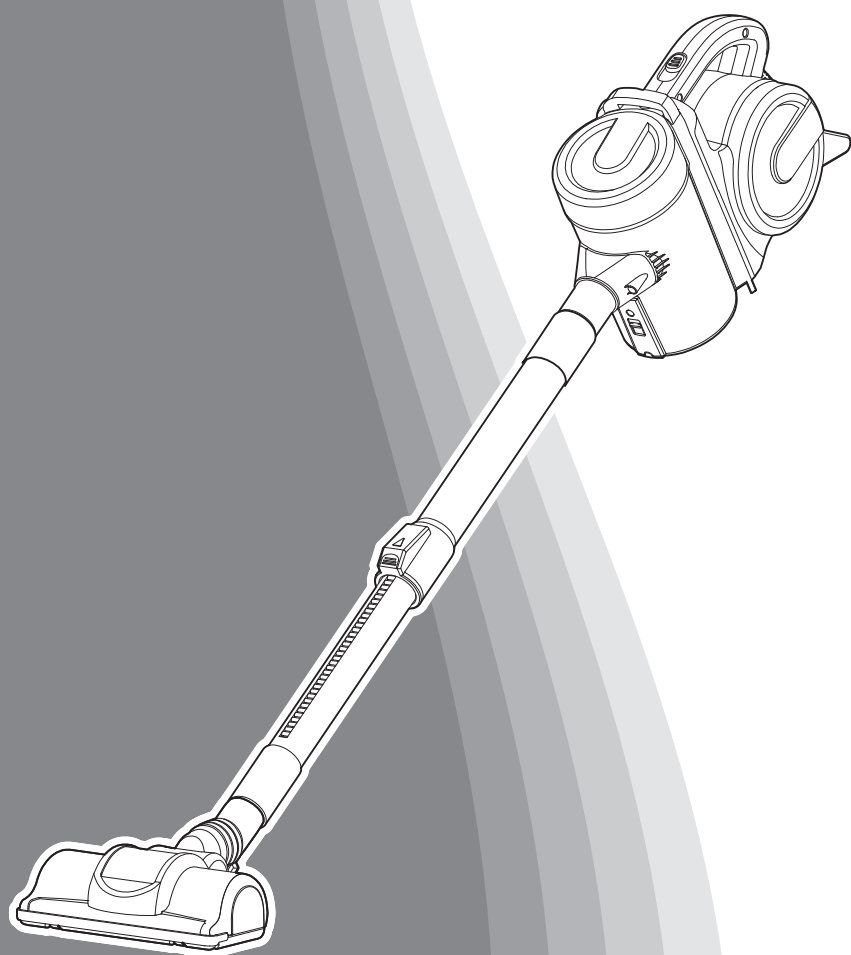
掃除のあとに

ゴミの捨てかた	7
お手入れのしかた	8

こんなときには

故障かな?と思ったら	10
仕様	11
保証とアフターサービス	11
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY



保証書付

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずにお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。



警告



禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
- 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない
ショート・感電・故障の原因になります。
- 絶対に分解・修理・改造はしない
発火・ケガ・異常動作の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・ケガの原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
発火・ショート・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない
- 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない
火災の原因になります。



必ず実施

- 異常・故障時にはすぐに使用を中止する
 - ・スイッチを「ON」にしても運転しない
 - ・運転中ときどき止まる
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
 - ・本体が変形したり、異常に熱い
 - ・こげくさい「におい」がする
 - ・運転中に異常な音がする発煙・発火・感電のおそれがあります。すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールへ点検、修理を依頼してください。
- 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る
湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差込む
発火・ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

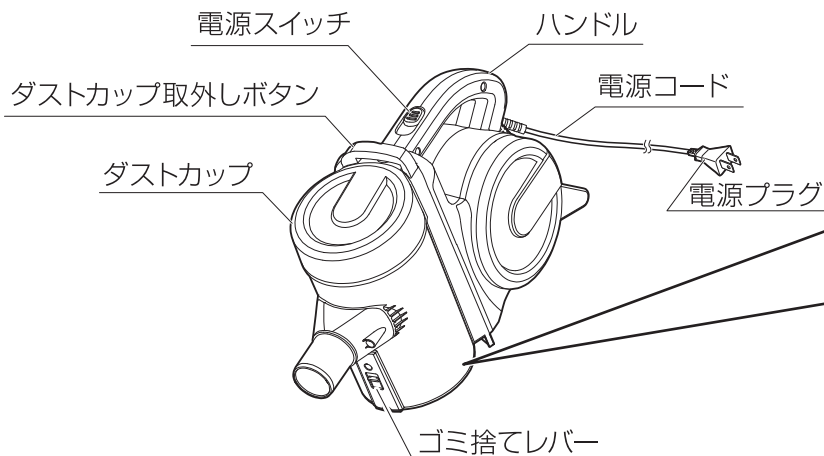
 禁止	●火気に近づけない 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	●吸込口をふさいで長時間運転しない ●排気口をふさがない 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	●破れたり、破損したフィルターは使わない 故障・性能低下の原因になります。
	●本体にはのらない。子どもには遊ばせない ケガや本体破損の原因になります。
	●運転中にダストカップ取外しボタンを押さない ケガや本体破損・故障の原因になります。
 必ず実施	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
	●持ち上げるときは、必ず本体ハンドルをもつ 本体が落下して、ケガや床にキズがつく原因になります。

使用上のお願い

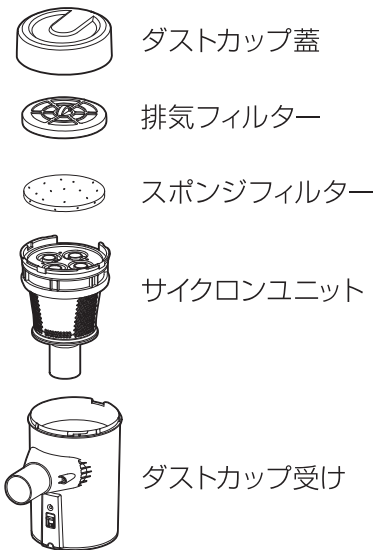
- この掃除機は室内用です。屋外では絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズル・小型ブラシを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。本体を無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。キズがついたり破損する原因になります。
- ダストカップ内のゴミは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。

各部の名称

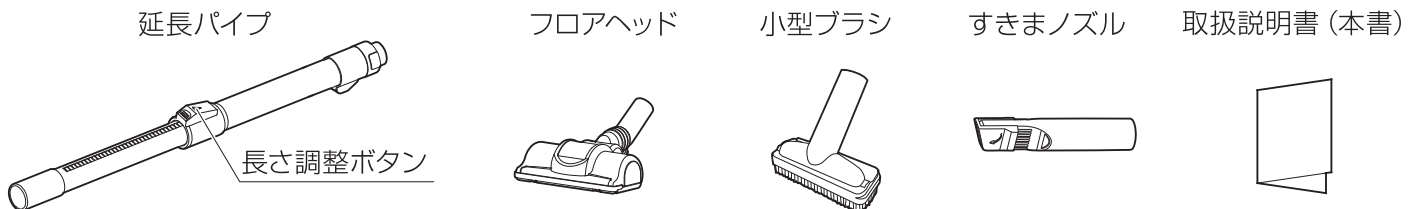
■本体



ダストカップ構成部品



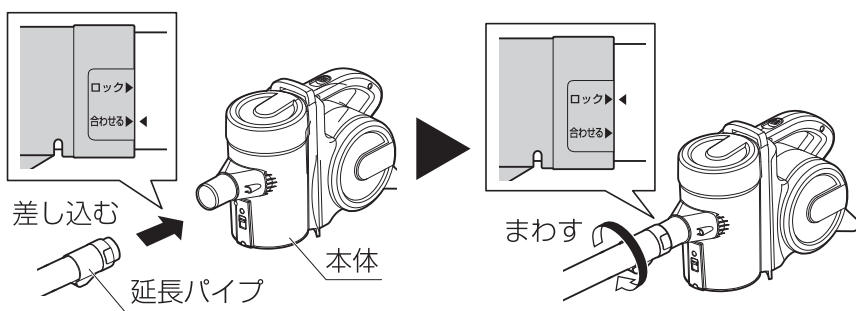
■付属品



ご使用前の準備

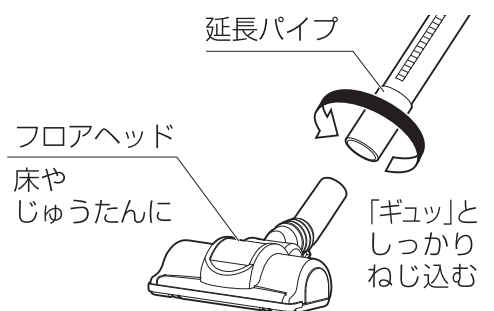
1 本体に延長パイプを取り付ける

- ①延長パイプの「合わせる▶」と本体の「◀」を合わせて、差し込みます。
- ②延長パイプの「ロック▶」と本体の「◀」の位置が合うまでまわします。

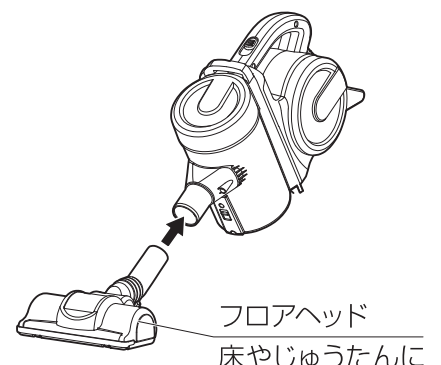
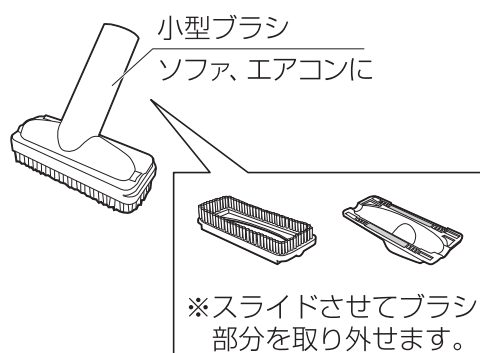


2 フロアヘッドを取り付ける

フロアヘッドを延長パイプに取り付けます。



本体に直接フロアヘッドやすきまノズル、小型ブラシを取り付けてハンディとしてもお使いいただけます。



使いかた

■基本の使いかた



注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸込力の低下や詰まりの原因になります。
- フィルターやパイプが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが発熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。

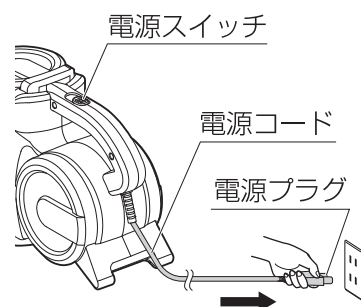
1 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。



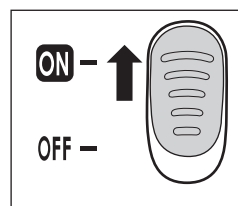
注意

- 差し込みプラグをコンセントに差し込むときは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから差し込んでください。



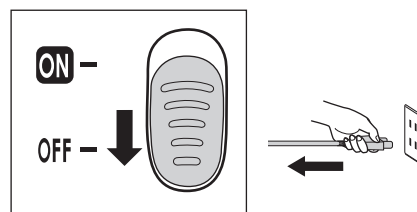
2 電源を入れる（運転開始）

電源スイッチをスライドさせて電源を入れます。



3 電源を切る

電源スイッチをスライドさせて電源を切ります。
その後、電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- ご使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。

■延長パイプの使い方

※運転中吸い込み口をふさいだ状態で長さ調節ボタンを押さないでください。
延長パイプが急に縮み、怪我をする恐れがあります。

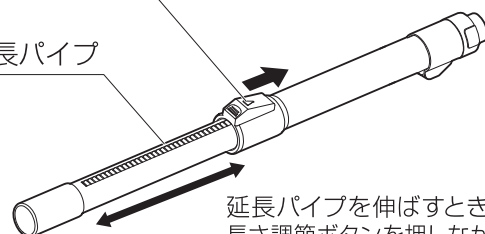


注意

- 延長パイプを調節するときは、安定した場所で行なってください。無理な体勢や、不安定な状態で行なうとケガや機器破損の原因になります。

長さ調整ボタン

延長パイプ



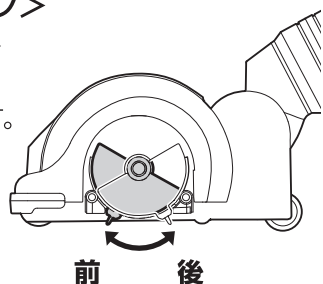
延長パイプを伸ばすときは
長さ調節ボタンを押しながら、
パイプを引き出します。

■フロアヘッドについて

当社独自の毛取りブラシが、じゅうたんについたペットの毛などをきれいに取り除きます。

<フロアヘッド動作イメージ>

フロアヘッドを前後に動かすことで、毛取りブラシが往復し、じゅうたんのゴミを取り除きます。



たたみ、フローリングのお掃除

たたみの目や、板目にそって軽くすべらせるようにお掃除してください。床やたたみの傷つき防止になります。

フローリングでは

毛取りブラシは可動せず、毛取り機能は働きません。

たたみでは

毛取りブラシは前後に可動しますが、毛取り機能は働きません。

	カーペット	フローリング	たたみ
毛取りブラシ	○ 可動	× 動かない※	○ 可動
毛取り機能	○	×	×

※フローリングのお掃除では、使い初めにブラシが数回可動することがあります。

収納のしかた

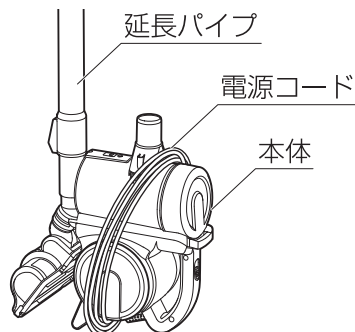


注意

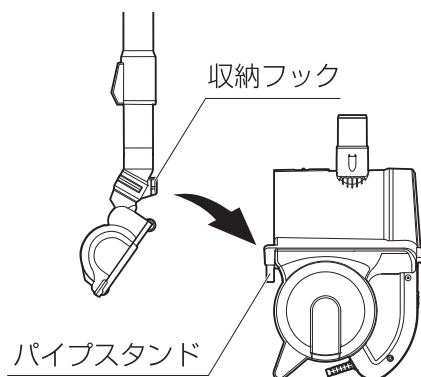
- ご使用が終わったら電源コードは、必ず片付けてください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとケガの原因になります。
- 収納状態のままで持ち運ばないでください。パイプやフロアヘッドが落下し、床面を傷付けたり、ケガをするおそれがあります。

1 本体から延長パイプを取り外し、本体を立てます。

電源コードを本体に巻付けることができます。

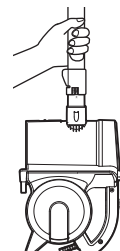


2 フロアヘッド側の収納フックを、パイプスタンドに差し込みます。



注意

パイプを持って持ち運ばないでください。本体が落下し、破損・ケガをするおそれがあります。

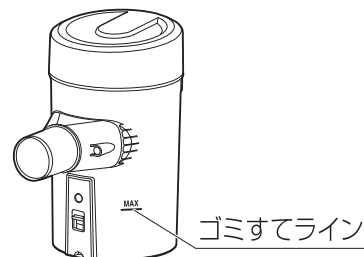


ゴミの捨てかた

■ダストカップからゴミを捨てる

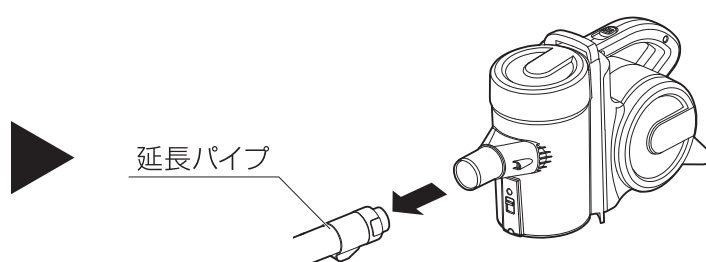
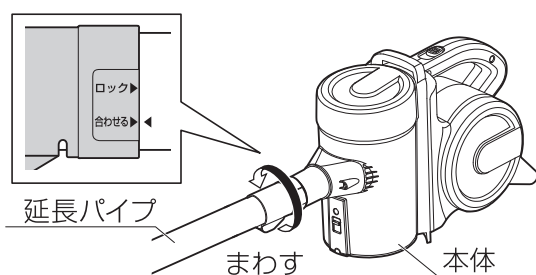
⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上ゴミをためないでください。吸引力が低下します。
- ゴミはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからゴミを捨てる際には、必ず電源を「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体運転中にダストカップを取り外さないでください。



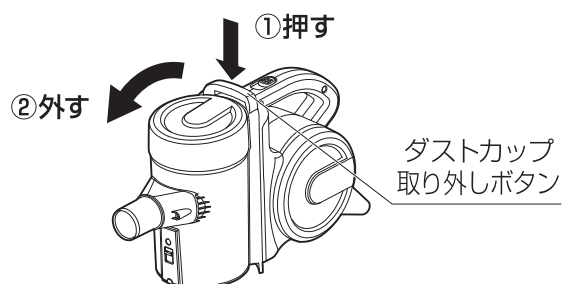
1 延長パイプを本体から取り外す

- ▶ 延長パイプの「合わせる ▶」を本体の「◀」の位置と合わせるまでまわし、延長パイプを取り外す。



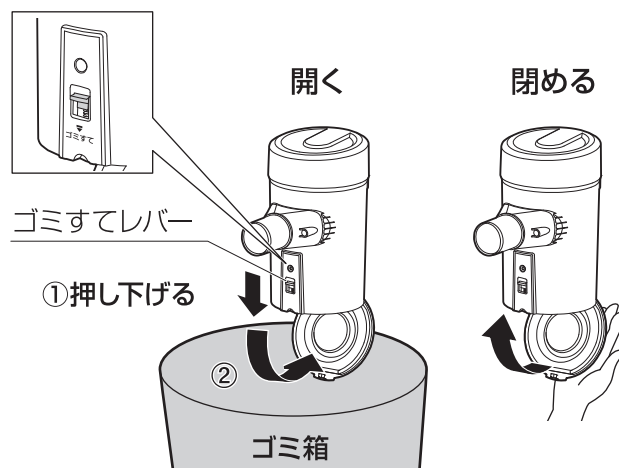
2 ダストカップを取り外す

ダストカップ取り外しボタンを押しながらダストカップを本体から取り外します。
ボタンを押さずに無理に取り外さないでください。



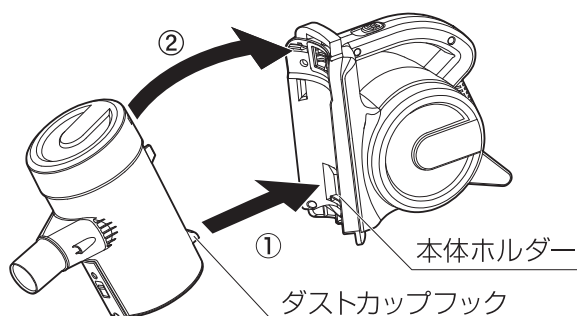
3 ゴミを捨てる

吸い込み口下部分のゴミすてレバーを下方向に押し下げます。
底ぶたが開き、ゴミを落とすことができます。
最後に手で底ぶたをしっかりと閉めてください。



4 ダストカップを本体に取り付ける

ダストカップフックを本体ホルダーに引っかけ、カチッと音がするまで押し込みます。



お手入れのしかた



警告

●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

●ダストカップやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

特に、「排気フィルター」と「スポンジフィルター」は、最低1ヶ月に一度は表と裏のみぞにあるほこりや汚れをきれいに落としてください。

※1ヶ月は目安です。ゴミの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



排気フィルター

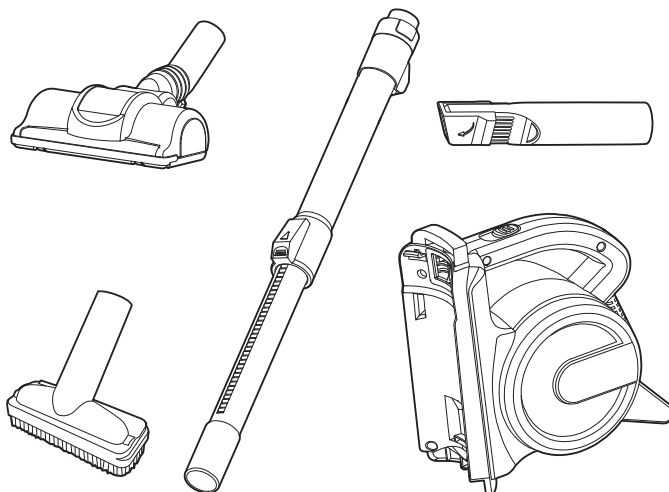


スポンジフィルター

■本体、付属品のお手入れ

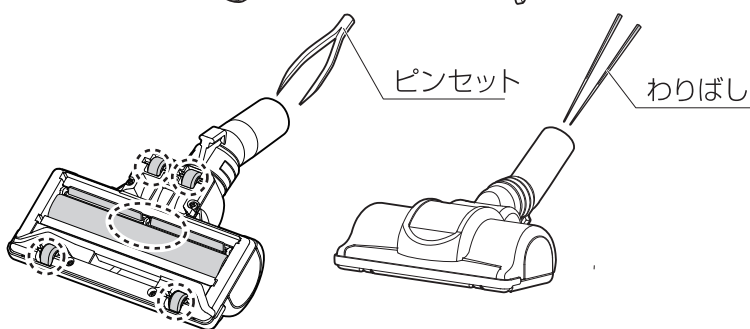
布に水または薄めた中性洗剤を含ませ充分によく絞ってから拭いてください。

※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。



■フロアヘッドのお手入れ

- 部からみついた毛・糸くずはピンセットなどで取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭いてください。
- フロアヘッド内部にゴミがたまり、吸引力が落ちる場合があります。わりばしやピンセットで定期的に取り除いてください。

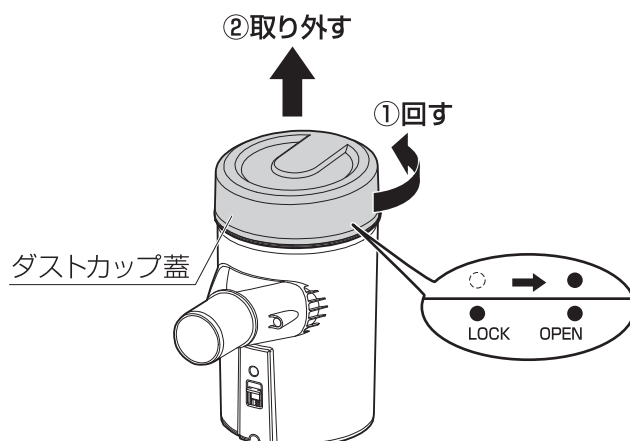


■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す (P7参照)

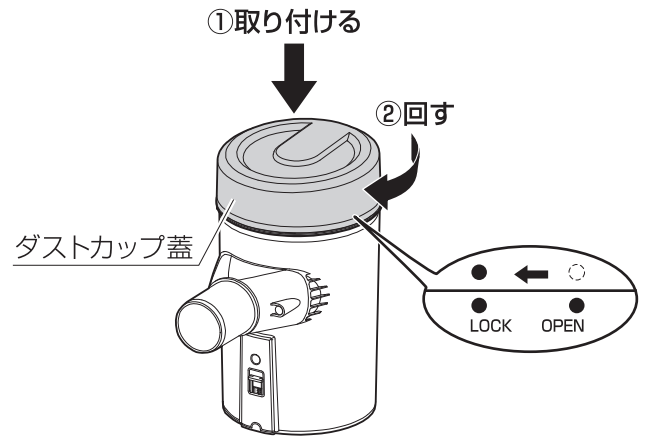
2 ダストカップ蓋を取り外す

ダストカップ蓋の「●」が「●OPEN」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り外します。



<ダストカップ蓋を取り付ける場合>

ダストカップ蓋の「●」を「●OPEN」の位置に合わせ
取り付け、「●」が「●LOCK」の位置にくるまで矢印の
方向に回し取り付けます。

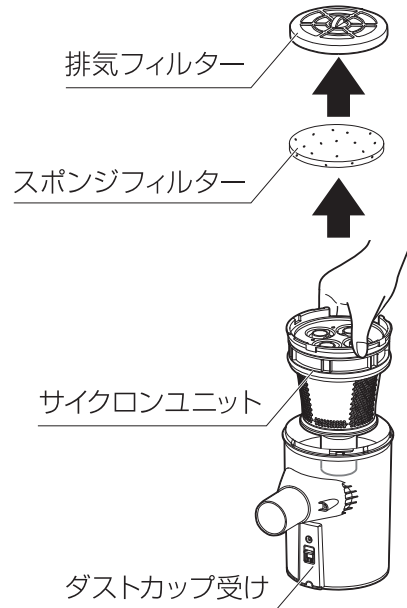


3 フィルター類を取り外す

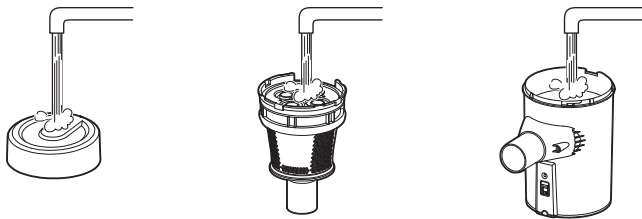
4 サイクロンユニットを取り外す

5 ゴミを取り除く

各部品を軽くたたきながら、ゴミを落とします。

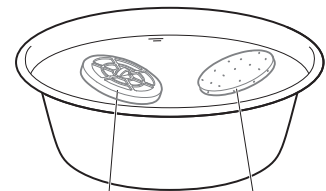


6 水洗いをする



ダストカップ蓋 サイクロンユニット ダストカップ受け

流水で汚れを落としてください。



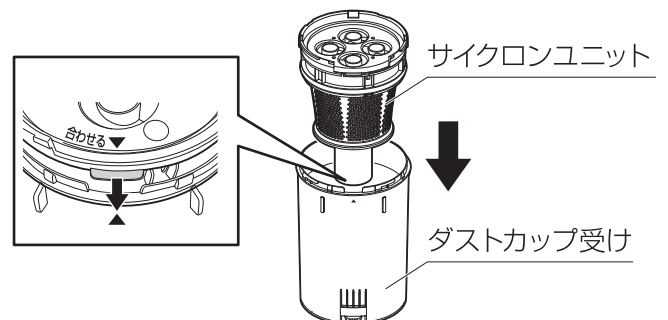
排気フィルター スポンジフィルター

水を入れた容器にフィルターを浸け、
ゆすいで汚れを落としてください。

7 本体に取り付ける

十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に
取り付けます。

※サイクロンユニット側の「▼」とダストカップ受け側
の「▲」を図のように合わせて取り付けてください。



注意

●表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。
風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。
乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続し、電源スイッチを再度入れる	●P5参照
	●フィルター類にゴミやホコリがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	●P10参照
吸引力が弱い	●フロアヘッド、延長パイプ、ノズルが詰まっている ●ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミがある ●フィルター類にゴミやホコリがたまっている ●ダストカップが本体ときちんと勘合していない	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●ダストカップのゴミを捨てる ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、フタの状態を確認する	●P7、8、9参照
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●吸込口やノズルに大きなゴミが詰まっている	●詰まっているゴミを取り除く	

保護装置について

フィルターや延長パイプが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置の仕方>

1. 本体の電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ダストカップのゴミを捨て、フィルター類をお手入れする。(取扱説明書P7～P9参照)
3. フロアヘッド、延長パイプなどが詰まっていないか確認する。
4. 涼しい場所におく。

約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

- ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	質 量	約2.4kg (フロアヘッド、延長パイプ含む)
消 費 電 力	550W	本体寸法	幅約122×奥行約343×高さ約207mm
吸込仕事率	70W		
集 塵 容 積	0.35L	コード長	4.8m

セット内容

掃除機本体 フロアヘッド(1個) すきまノズル(1個) 小型ブラシ(1個) 延長パイプ(1本)
排気フィルター／スポンジフィルター(本体セット済み1個) 取扱説明書(本書)

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

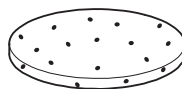
MADE IN CHINA

■ 消耗部品について

排気フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、当社アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 **アイリスコール** 受付時間 9:00～17:00
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/> **0120-211-299**

P240412-RUI